

石巻

若手の移住者にむけて、石巻で「くらし」  
を提供するシェアハウスづくり

## 渡邊 享子

東京工業大学博士過程在学中。西日本にて密集市街地での住まいの研究を行う途中、2011年の震災を契機に石巻へ移住。一般社団法人 ISHINOMAKI2.0 の立ち上げに関わり、フリーペーパー石巻 VOICE 編集、建築や不動産関連のプロジェクトをおこなう。2013年に、中心市街地での移住促進事業である 2.0 不動産を独自にスタート。



石巻

被災された方々の心身をほぐす  
「あろまおいるセラピーひだまり」

## 三浦 美恵子

震災から数年が経過し、ようやく復興に向けての動きが出てきたが、被災された方の心はまだまだ深い傷跡が刻まれている。このような中で、美容や健康、リラクゼーションとして、癒やし効果を得られるアロマセラピーが、被災者の心をほぐすのではないかと考えた。老人介護施設や仮設住宅等でのボランティアでの活動を経て、「あろまおいるセラピーひだまり」をオープンさせた。



石巻

## アロマケアで心と体のリフレッシュと健康の維持増進を

### 阿部 啓子

石巻市茜平在住。東日本大震災前まで電子部品の子会社を経営していたが、震災で全てを失い、震災後アロマケアのボランティア活動を仮設住宅中心に行ってきた。ボランティア活動を継続しながら、この経験を事業としてより多くの方に知って頂きたい、経験して頂きたいとの思いから起業に至る。

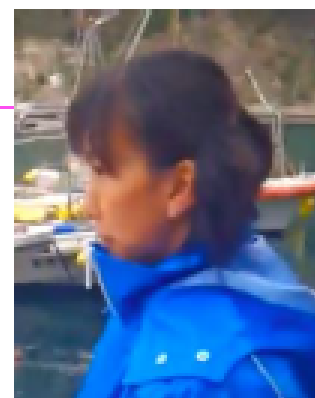


石巻

## 産直流通で地域を活性化 「ふみかあさんの牡鹿の味お届け便」

### 阿部 ふみ

元々は縫製関係の会社に勤務。経理や企画から縫製まで様々な業務を経験。結婚後、牡鹿にて海産物の加工などに従事していたが、震災で被災し、実家のある大森地区に戻る。牡鹿の仲間からの「ふみさんの声がきけねとさみしい」という声もあり、牡鹿の海産物の加工や販売の活動を通じて、コミュニティの再生に取り組むこととなった。



石巻

雄勝ローズファクトリーガーデンを拠点に街の復興のため、人と人が繋がる場作りを

## 徳水 利枝

石巻市雄勝町出身。1988年より雄勝町で学習塾を経営。震災により、母、叔母、従兄弟、自宅をなくす。実家跡地に花を植え始め、多くのボランティアの方の支援を頂きつつ、被災した雄勝を花で彩る活動に取り組んでいる。一般社団法人雄勝花物語代表理事。

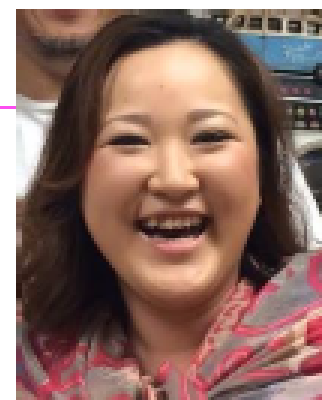


気仙沼

震災で失った屋外で大勢の人と食事を楽しむ文化をBBQで復活させる！

## 熊谷 美幸

宮城県立本吉響高校在学中から、コンビニエンスストア店舗スタッフとして震災までの五年間勤務。震災をきっかけに復興屋台村気仙沼横丁にて飲食店を開業。気仙沼で初の立ち飲みスタイルとインパクトのあるメニューが特徴。気仙沼市内の仮設40店舗で開催された気仙沼バルにて最多来場を記録。日本BBQ協会に入会し初級インストラクター取得。気仙沼BBQアソシエーションを設立した。

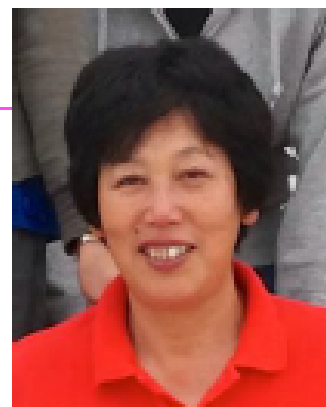


南三陸

## 漁師が直接作る海鮮 BBQ、 漁師の番屋！

### 村岡 絹子

震災以前より、学生の漁業体験等を受入れていましたが、震災後は中断。震災で漁業に使う作業場等を失いましたが、津波で流されはしましたが、運良く修理が出来た船を使って、主人とともに漁業体験を、少しずつ再開しています。



南三陸

## 中高生の自習支援スペース TERACO！

### 小楠 あゆみ

東京でシステム開発会社を経営していましたが、震災直後に南三陸町へ。物資を配送に入りました。まだ色々な支援が必要な状況下でしたが、体育館にいた子どもたちのために、勉強を続けるためのスペースを開始したことをきっかけに現在の活動をスタートさせました。



南三陸

豊かな南三陸の自然を感じられて  
人々がつながり合う手仕事づくり

## 矢野 智子



南三陸生まれ南三陸育ち。高校を卒業後、神奈川、長野などの児童施設で働いていた。平成 21 年出産。子育てのために南三陸に戻るが半年後に震災に合う。

就職予定の職場が被災し、仕事がなくなり一度は町を離れたが、復興のために自分にもできることがあるかもしれないと地元に戻り現在の活動をはじめ。

南三陸

保護者が安心して子育てできる社会の  
実現を目的とした、母子支援 !!!

## 小川 紗絵子



長崎県出身の保育士。2009 年、幼児保育学科を卒業後、乳児院・重症心身障害児施設にて 4 年間勤務。2013 年 6 月よりボランティア団体に所属し、キッズサポートチームのリーダーを 8 ヶ月務めた。主に南三陸ママサークルもここの運営をサポート、預かり保育を実施。保育士としての経験を活かし、乳児向けの離乳食教室や幼児向けの絵本読み聞かせなどのイベント企画も行った。

南三陸

仲間とともに製品づくり  
南三陸 縫い物工房みとべ

三浦 幸子

震災までは JF(漁協)みやぎ志津川支所戸倉出張所に勤務していました。震災後は、家と職場を失い、仮設住宅に移ってから支援で頂いたミシンをきっかけに簡単な縫い物から縫い始めました。まったくの素人から始めましたが、いまでは専門のミシンも導入し、バッグ、エプロン等製品の幅を広げています。



仙台

「体と遊びと暮らしにアプローチ」  
する会社です

佐藤 明子

作業療法士養成校を卒業後、障がいを持ったお子様の支援に長年関わってきた経験を活かし「暮らしの中でいずさを抱えた人を支えたい」「頑張っている支援者を応援したい」との思いから、医療・福祉制度には該当しないオリジナルのサービスを展開する会社を個人事業主として平成 26 年 3 月に起業、同年 7 月法人化した。

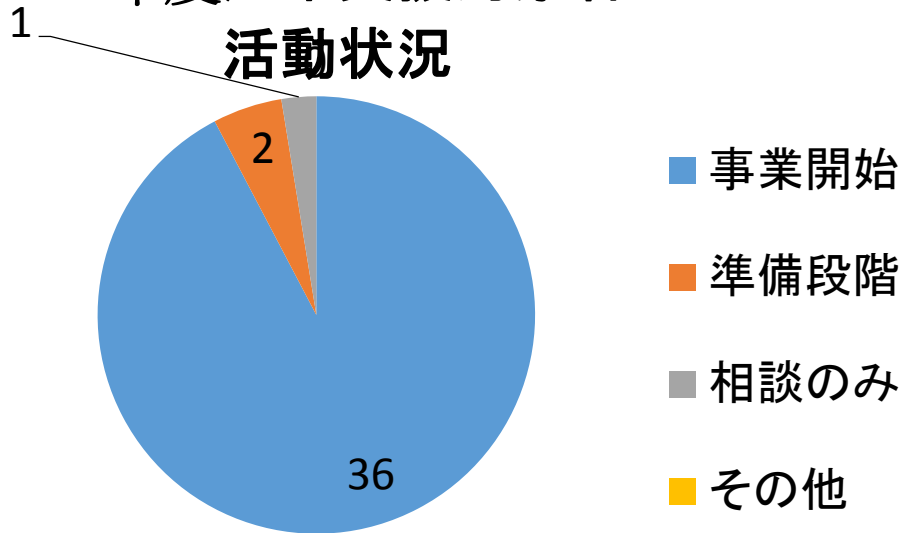


## 高橋 和香奈

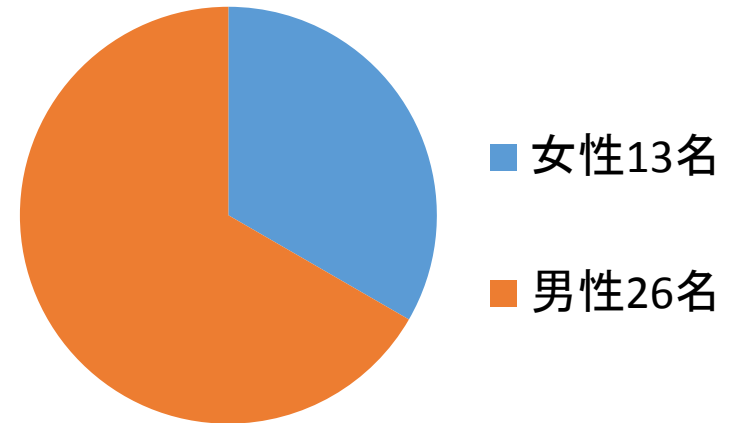


仙台生まれ、仙台育ち。子どものころ、忙しかった母に変わって祖父母に育てられたため、高齢者の日々のちょっとした不安や悩みなど「困った」とい声に何かできないかと考えるようになる。「介護保険適用外のサービス」と「女性の家事能力」を結びつけた仕事づくりを考えるようになり、地域支援団体として「あおばサポート」の運営を開始した。

### 25年度起業支援対象者 活動状況



### 25年度起業家男女比



～女性が輝く。 石巻が輝く。～



Eyes for  
Future



LANCÔME  
PARIS



